

参加申し込み書

FAX. **03-3756-0307**
 インターネットからのお申し込みは下の URL へ
<http://www.sainou.or.jp/forum2017/>

参加される方のお名前・ご連絡先等

ふりがな

お名前

郵便番号 住所

電話番号 メールアドレス

勤務先

*本申し込み書にご記入いただいた個人情報は、IMETS フォーラム実施に関わる確認・連絡および当財団からのご案内以外には使用いたしません。

参加区分と参加費 (消費税を含みます。希望される区分の□にレ印を入れてください。「学生」は内地留学を除きます。)

小・中学校コース		
2日間参加	<input type="checkbox"/> 一般(11,000円)	<input type="checkbox"/> 学生(4,000円)
7月27日(木)のみ参加	<input type="checkbox"/> 一般(7,500円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)
7月28日(金)のみ参加	<input type="checkbox"/> 一般(7,500円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)
特別コース		
主体的・対話的で深い学びとICT活用	<input type="checkbox"/> 一般(6,500円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)
カリキュラムマネジメント講座	<input type="checkbox"/> 一般(6,500円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)
幼児教育実践講座	<input type="checkbox"/> 一般(6,500円)	

ワークショップの選択 (小・中学校コース) ● お弁当の希望 (希望される日の□にレ印を入れてください。消費税込)

	第1希望	第2希望
27日(木)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28日(金)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

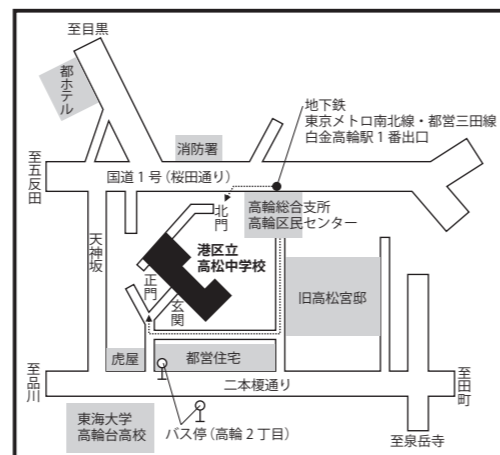
27日(木)分を注文(800円) 28日(金)分を注文(800円)

※左ページのプログラムからご希望の講座を第2希望まで番号および記号でご記入ください。

会場 東京都 港区立高松中学校 (東京都港区高輪 1-16-25)
 アクセス: 最寄り駅
 「白金高輪駅」(東京メトロ南北線・都営三田線) 徒歩 1分

お申し込み方法
 参加申し込み書にご記入の上、FAX してください。
 インターネットからの申し込みも可能です。
<http://www.sainou.or.jp/forum2017/>
 ※お申し込み者には、参加費の振込先、地図などをお送りいたします。

お問い合わせ先
 公益財団法人 才能開発教育研究財団
 教育工学研究協議会 フォーラム事務局
 〒146-0083 東京都大田区千鳥 3-25-5 千鳥町ビル
 電話: 03-5741-1311 FAX: 03-3756-0307
 E-mail: forum@sainou.or.jp



* IMETS : Improvement of Media Education and Teaching Studies

2017年5月11日現在

IMETSフォーラム 2017 第44回教育工学研修中央セミナー

主催: 公益財団法人才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会
 共催: 一般社団法人日本教育情報化振興会 (JAPET & CEC)

研修テーマ

新教科(道徳・英語)とプログラミング教育に向けた授業づくりとICT活用の工夫

日時 7月27日(木)・7月28日(金)
 9:00 ~

会場 東京都 港区立高松中学校

参加費 2日参加 11,000円
 (消費税込) 1日参加 7,500円 ※学生割引あり 4P 参照

後援: 文部科学省、東京都教育委員会、他



小・中学校コース

7月27日(木)

開会行事 ご挨拶 文科省初等中等教育局長、港区教育長
 共催挨拶 日本教育情報化振興会会長 赤堀侃司
 (9:00 ~)

講演 新学習指導要領がめざす授業と学校
 (9:15 ~) 甲南女子大学教授 村川雅弘

学習指導要領が告示された。どのような授業改善や学校づくりが求められているのか。主体的・対話的で深い学びをどう捉えどのような授業改善を図るのか。カリキュラム・マネジメントの実現において学校はどう取り組んでいくのか。今できること、すべきことは少なくない。先進的な事例を基に考えたい。

講演 考え議論する道徳科の展開の実際
 (10:30 ~) 秋田公立美術大学教授 毛内嘉威

「特別の教科 道徳」(道徳科)が、小学校は平成30年4月より、中学校は平成31年4月より完全実施となります。道徳科が導入された経緯について解説するとともに、「考え議論する」道徳科の展開について演習を交えながら具体的に解説し、皆様とともに道徳授業の在り方について考えます。

ワークショップ 概要は2ページをご覧ください
 (13:00 ~)

パネルディスカッション
 (15:15 ~ 16:45) 新教科「英語」を小中連携を通して魅力的に推進する

元港区教育長 高橋良祐
 文部科学省教科書調査官 池田勝久
 新教科「英語」が導入される。小学校の英語科の授業を推進するためには様々な課題の解決とともに、中学校の英語科との一層の連携を視野に入れる必要がある。子供にとっても教師にとっても魅力的な英語科の授業への取り組み方など、先進的な事例を基に今後の英語教育について、意見交換も交えながら考察したい。

7月28日(金)

講演 ICT活用の課題と展望
 (9:00 ~) 一ネットリテラシーの育成とプログラミング教育—
 富山大学名誉教授 山西潤一

2020年から始まる次期学習指導要領では、ICTを用いた教育方法や学習活動が今まで以上に取り入れられています。又、新しい学習内容としてのプログラミング教育も始まります。このような状況の中で、次代に求められる児童生徒の情報活用能力をいかに育むか、ネットリテラシーの向上とプログラミング教育を中心に、そのあり方を考えます。

特別講演 発達障害をめぐる特別支援教育の今後の展開
 (10:15 ~) 東京学芸大学名誉教授 上野一彦

発達にわずかな遅れや偏りを特徴とする発達障害(LD・ADHD・ASD)と呼ばれる子供たちに注目が集まっている。近年、特別支援教育の進展の中で、通常学級にいるこうした子供たちを「通級指導教室」との連携によって早期に効果的な支援をする動きが急速に広まりつつあり、その実態と今後の課題についてお話しする。

ワークショップ 概要は2ページ目をご覧ください
 (12:45 ~)

対談 今、求められる教師の力量とは
 (15:00 ~) 日本女子大学教授 吉崎静夫
 熊本大学教職大学院准教授 前田康裕

次期学習指導要領の全面実施を間近に控えて、今、教師にどのような力量が求められているのか、そしてどのようにしてそれらの力量を高めたらいのかを考る必要があります。この対談では、道徳科と小学校・英語科で求められる教師の力量、そしてアクティブ・ラーニングやICT活用などで求められる教師の力量を話題にします。

閉会行事
 (16:45 ~ 17:00)

※都合によりプログラムは変更になる場合があります。予めご了承ください。

ワークショップの概要

7月27日(木) (13:00～)

1	デジタル・シンキングツールを使ってみよう 黒上晴夫 関西大学教授	子どもの考えを可視化するシンキングツール（思考ツール）が、タブレット PC の上で使えるようになりました。自分の考えを他者に送ったり、課題への答えとして提出したりすることもできます。ワークショップでは、デジタル版のシンキングツールを体験していただきます。 協力：(株)LoiLo
2	特別の教科道徳と情報モラル教育の関わり 榎本竜二 前東京女子体育大学准教授	特別の教科道徳は、自分自身や他人との関わり、そして集団や社会との関わりなどが内容に入りました。自分と他人との違いや、集団の大きさが変わることに必要な態度と知識は、まさにネット社会に必須の考えです。そこで、道徳的側面から見た情報モラル教育の具体的な実践方法を、計画から提案していきたいと考えています。
3	デジタル教科書からプログラミング学習へ…「ロボットを動かしてみよう！」 渡部 昭 墨田区教育委員会（元中学校校長）	あと便利なデジタル教科書。進化しつつあるデジタル教科書についてその変化から学ぶものを探し、授業にどう生かすかを考えます。また、新しい学習指導要領で小学校に導入されるプログラミング学習。プログラミング的思考とは何かを実際にロボットを動かしてみながら体験的に学びます。 協力：Sky (株)、(株)東京書籍、(株)光村図書、(株)アーテック
4	写真でことわざを理解する（主に小学校教諭対象） 池田 修 京都橘大学教授	小学校3、4年生で学習することわざの学習について新しい提案をします。それは、かるたの取り札を写真で作って見たらどうなるだろうかというものです。実際に小学生に行った授業の様子をお見せしながら、一方で参加者のみなさんに実際にことわざを写真で表していただきます。ご参加の方は、スマートフォンをご持参ください。
5	主体的・対話的で深い学びを生み出す授業づくりのABC 石堂 裕 兵庫県たつの市立新宮小学校教諭	深い学びを生み出す授業には、主体的に課題と向き合ったり、友だちとの議論を楽しんだりする子どもたちの姿があります。授業改善のポイントとなる学び合いやノート整理における工夫、ICTの効果的活用法、そしてカリキュラム・マネジメントによる社会に開かれた教育課程のつくり方などを、具体的な事例を用いて紹介します。 協力：日本文教出版(株)
6	「学びのある」外国語活動とは～次期指導要領を踏まえて～ 坂田美佳 鳴門市林崎小学校教諭	小学校5、6年は英語が教科、3、4年では外国語活動として必修化されます。大きな転換期を向かえましたが次期指導要領を見据えた外国語教育で、読む・書くの段階的な指導法や発達段階に合った指導とはどのようなもののでしょうか。学びの目的を明確に持ち豊富な現場実践の経験を持っている先生による模擬授業を体験頂きます。 協力：(株)学研教育 ICT
7	対話的で深い学びを促す ICT・放送教材活用の工夫 菅原弘一 仙台市立六郷小学校校長	タブレット端末などの ICT を使い、放送教材（動画クリップ）などのデジタルコンテンツを効果的に活用することで、異なる立場や異なる視点から考え、話し合う授業がデザインしやすくなります。社会科の模擬授業を体験しながら、対話的で深い学びを促す授業をどのようにデザインすればよいのか考えます。 協力：NHK

7月28日(金) (12:45～)

A	デジタル・シンキングツールを使ってみよう 黒上晴夫 関西大学教授	子どもの考えを可視化するシンキングツール（思考ツール）が、タブレット PC の上で使えるようになりました。自分の考えを他者に送ったり、課題への答えとして提出したりすることもできます。ワークショップでは、デジタル版のシンキングツールを体験していただきます。 協力：(株)LoiLo
B	ICT 活用授業のマネジメント 渡部 昭 墨田区教育委員会（元中学校校長）	ICT を授業等で有効に活用する方策について、各学校の ICT の整備状況や活用の現状を出し合いながら課題を明らかにし、ICT 活用のマネジメントについて検討します。また、タブレット端末や実物投影機の効果的な活用法、更にこれから導入されるプログラミング学習のデモンストレーションを通して新たな ICT 活用について考えます。 協力：Sky (株)、(株)エルモ、(株)アーテック
C	こんな時どう言い返す（主に中学校教諭対象） 池田 修 京都橘大学教授	生活指導は、その場、その時に口頭で、待たないで行わなければなりません。生徒たちが理不尽な、または一見筋の通ったかのように見える「文句」に、瞬時にきちんといい返さなければなりません。そうしないと、生徒たちは勝手に「先生は許した」などと思うようになります。理論とケーススタディで学んでいきましょう。
D	3.11を学びに～あの日を語ろう、未来を語ろう～ 佐藤敏郎 前東松島市立矢本第二中学校教諭	東日本大震災から6年間、中高生をはじめとした被災地内外の多くの人とともに、授業や地域活動の中で様々な取り組みや発信を続けてきました。女川、東松島、そして、大川小学校に関する事例をもとに、3.11をどう学びに変えていくかを考えます。
E	主体的・対話的で深い学びを生み出す授業づくりのABC 石堂 裕 兵庫県たつの市立新宮小学校教諭	深い学びを生み出す授業には、主体的に課題と向き合ったり、友だちとの議論を楽しんだりする子どもたちの姿があります。授業改善のポイントとなる学び合いやノート整理における工夫、ICTの効果的活用法、そしてカリキュラム・マネジメントによる社会に開かれた教育課程のつくり方などを、具体的な事例を用いて紹介します。 協力：日本文教出版(株)
F	ロボット教育の魅力と効果的な指導方法 葉山泰三 奈良教育大学附属中学校教諭	2020年よりプログラミング教育が小学校でも始まる状況の中、ロボット教育には大きな注目が集まっています。しかし、ロボット教育には、どのような教育効果があり、どのように指導するのがよいのでしょうか？ 国際コンテストで世界一になった実践例をもとに、ロボット教育の魅力と効果的な指導方法をお伝えします。 協力：(株)学研エデュケーショナル
G	小学校におけるプログラミング的思考を育む授業設計 佐藤和紀 常葉大学教育学部初等教育課程 専任講師	学習指導要領の改訂に伴い、各教科等において、プログラミングの体験やプログラミング的思考を育むことが注目されています。本セッションでは、プログラミング的思考に着目し、その授業実践の事例を知るとともに、授業作りワークショップを行います。

特別コース 教員免許状更新講習対象講座

7月27日(木)

(9:15～15:45)

主体的・対話的で深い学びと ICT 活用

今田晃一 文教大学教授

ICT 活用は、アクティブ・ラーニングを促進する（平成 26 年度文部科学白書）。特に、一斉学習および協働学習における主体的・対話的で深い学びを充実させるための ICT 活用、デジタル教材を活用した道徳、タブレット端末（iPad）の在り方について実践事例の検討、実習を通して検討する。



参加費（消費税込）：一般 6,500 円 学生 3,000 円

7月28日(金)

(9:15～15:45)

授業改善につながるカリキュラムマネジメント

村川雅弘 甲南女子大学教授

事例発表

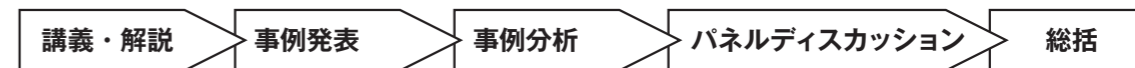
渡邊 崇 大分県佐伯市立渡町台小学校教諭

福山暁博 鳥取県鳥取市立南中学校教諭

育成を目指す資質・能力と子どもや地域の実態をふまえてどんな力を育てていくのか、そのための授業づくりをどう進めるのか、教職員の共通理解の下で組織として考え実践していくことが「カリキュラムマネジメント」です。本講習では、学校が抱える様々な課題への対応で成果をあげた小・中学校の実際の事例について、カリキュラムマネジメントの観点から分析し、協議・検討を行うことで、日々の授業改善につながる授業研究およびカリキュラムマネジメントの手法について学びます。



講習の流れ



参加費（消費税込）：一般 6,500 円 学生 3,000 円

7月28日(金)

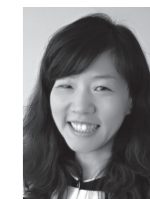
(9:15～15:45)

幼児教育実践講座

子どもと楽しむいきいき保育～豊かな感性を育むために～

松村弘美 アトリエ自遊楽校スタッフ・仙台こども専門学校非常勤講師

子どもがいろいろなものに出会い、子ども自身が自発的に主体的に表現できる保育について、ワークショップを通じた理論と、現場ですぐに役に立つ実技を学びます。



参加費（消費税込）：一般 6,500 円 学生 3,000 円

教員免許状更新講習に認定されています

上記の3講座は、いずれも教員免許状更新講習の選択領域（6時間）の講習として認定されています。更新講習の受講者は講習後試験があります。教員免許状更新講習は受講申し込み方法が異なります。詳細につきましては財団HPをご覧ください。

<http://www.sainou.or.jp/license/>

主催：公益財団法人才能開発教育研究財団教育工学研究協議会
共催：一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET & CEC）
後援：文部科学省、東京都教育委員会、港区教育委員会、全国教育研究所連盟、民間教育研究所連盟、日本教育工学会、日本教育工学協会、NPO 法人日本教育再興連盟（ROJE）
協力：学研グループ各社